

# コロナで陥る困窮

# 生活保護は命綱

新型コロナウイルスの感染拡大で、経済をはじめとする活動の自粛が呼びかけられました。正社員でも収入が半減するなど多くの市民が困窮に陥っています。15日の参院決算委員会では日本共産党の田村智子副委員長が安倍晋三首相に生活保護の積極的活用を促すよう求め、首相は「文化的な生活を送る権利がある。ためらわずに申請していただきたい」と答弁しました。生活保護の活用は、命綱となっています。

(菅井照紀)



生活保護制度の充実実現をめざす全生連の人たち＝2018年4月、衆院第1議員会館

全国でいち早く、2月末に「緊急事態宣言」を出した北海道。「5月には全道で、120件ほどの相談がありました。これほど相談が寄せられたことは今までありませんでした。北海道生活と健康を守る会連合会(道生連)の石橋妙美事務局長は、そう振り返ります。

### 給料支払われず

飲食チェーン店の店員だった40代男性。もともと4月末で退職予定でしたが、コロナの影響で店の売り上げが悪化し、4月分の給料が支払われませんでした。妻と小学4年生と1歳の子どもの4人暮らしで、400万円近くの借金を抱えています。飲食関係で新たな職を探すも、「休業要請が出ていて面

## 守る会“活用して暮らし守って”

接はできない」などと断られ続けていました。

道生連が配布したチラシを頼りに、連絡した男性。社会福祉協議会の緊急小口資金の貸し付けは1借金が増える一とためらい、生活保護の申請をしました。保護費が出、「安心して暮らせるようになった。コロナで困ったけど、生活がやり直せて良かった」と喜びました。

30代の正社員男性は、営業の歩合と残業代を合わせて手取りで月38万円ほどの収入がありました。コロナの影響で1月から在宅勤務になり、約20万円と半減しました。妻と高校生、小学生の子どもの2月に生まれた乳児の5人家族。派遣労働者の妻は昨

年、体調を崩し働いていませんでした。出産後にコールセンターで働き始めたところ、コロナで職場が閉鎖に。緊急小口資金を20万円利用しましたが、生活保護の申請時には3000円しか手元がありませんでした。

### 弾力的対応要求

札幌北区生活と健康を守る会の対馬敏明会長は「男性は車2台について半年間は持っていることを認められ、男性に対する扶養義務がある人に扶養能力があるかを調べる『扶養調査』も半年間はしないなど福祉事務所は柔軟な対応で」と話します。

これまで自動車の保有は厳しく制限されてきました。コロナ禍で、厚生労働省は通達で、生活保護の弾力的な運用を福祉事務所に求めています。

道生連の三浦誠一会長は「一時的な保護の利用は有効です」と強調します。全国の生活と健康を守る会は、コロナ禍で暮らしを守る取り組みに力を入れています。

### 厚生労働省運用柔軟に

厚生労働省は通達で、確認しなくても良い▽目▽申請相談では、生活保護の要否判定に直接必要な情報のみを聞いたうえで、生活保護の柔軟な運用を福祉事務所に求めています。